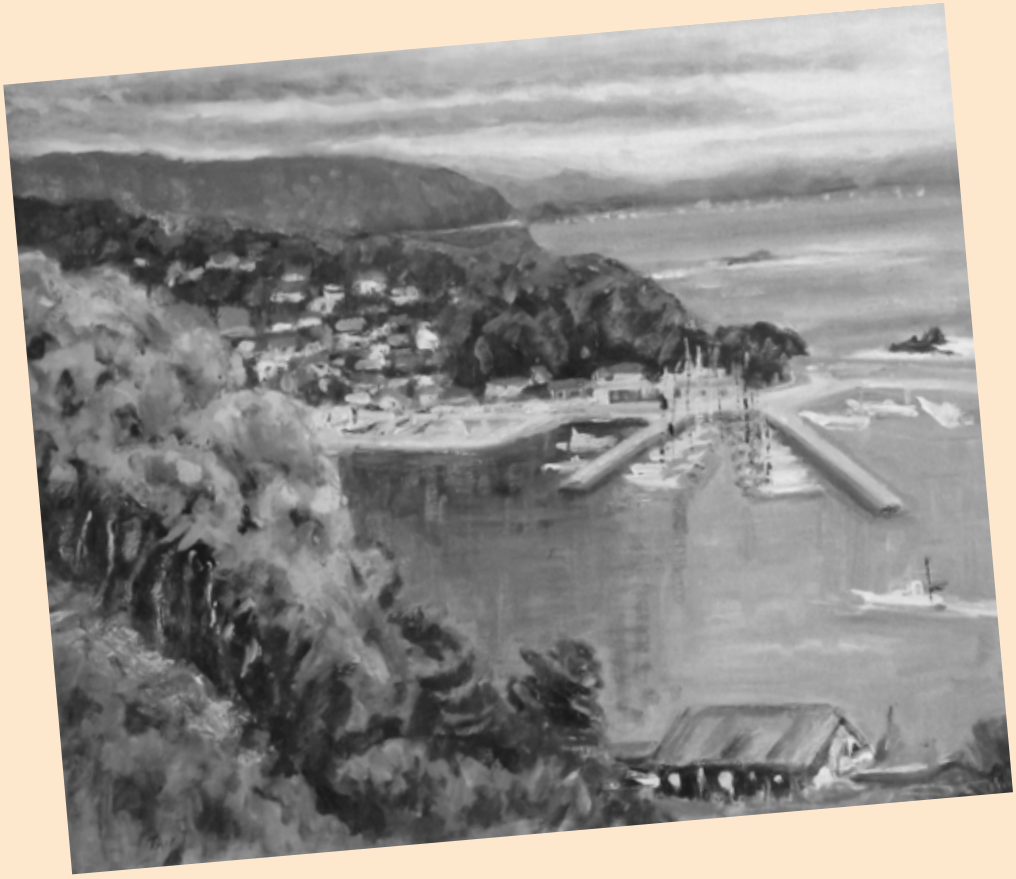
MANAZURU

議会だよりまなづる

No.48

2015年（平成27年）
8月1日発行



私の好きな場所

「楠若葉の頃」

絵の作者　青木 辰江さん

お宮さんの上の途中から、楠若葉の美しさにひかれて…

目次 Contents

4月臨時会・6月定例会・・・・・・・・・2−3P
審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・・3P
一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・4−7P
議長の部屋・・・・・・・・・・・・・・・・8P
委員長・副委員長研修会報告・・・・・・・8P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202　神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
電話0465-68-1131（内線360）
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

4月臨時会・6月定例会

4月24日 臨時会開催

4月臨時会は、条例の制定、魚座の指定管理者の指定について審議が行われた。

専決処分の承認を求めることについて（真鶴町税条例の一部を改正することについて）

全員賛成

真鶴魚座の指定管理者の指定について

全員賛成

村田　魚座で生き活き健康体操等の住民活動を行っているが、今後も場所やコンセントを引き続き使えるのか？

産業観光課長　コンセントまでは打ち合わせていないが、場所を使うことは了解を得ている。

黒岩　今まで働いている人の処遇は？引き継ぎはどのように進めるか？

産業観光課長　パート・アルバイトの方で引き続き働きたい人には事前に面接等を行い、希望者は全員採用の予定。厨房の板前は継続しない。4月は新たな会社から板前1名、ホール1名に入ってもらい、5月1日のスムーズな移行を目指している。

議会を傍聴してみませんか

次の議会は
定例会9月8日㈫～18日㈮の
予定です。

真鶴地域情報センター
でも議会中継をしてます。

6月11日～12日 定例会開催

6月定例会は、27年度補正予算・条例制定などの審議が行われた。

人権擁護委員の推薦について

全員賛成

真鶴町付属機関の設置に関する条例及び真鶴町特別職の職員中非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

黒岩　いじめ問題の現状はどうなっているか？「真鶴町いじめ問題再調査会」と「真鶴町いじめ防止対策調査会」の関係と、期待される成果は？

教育長　学校、教育委員会は、言葉によるいじめは時々おきていることを認知しており、その都度関係職員の指導による改善をみている。重大ないじめにつながるものは、認知していない。いじめは常にあるという危機意識をもって、対策を継続していく。重大事案が発生した場合に教育委員会が「防止対策調査会」を組織し、原因や対策に関する調査を行う。調査が十分でないと町長が判断した場合、客観性を保つため町長の主導によって「再調査会」が行われる。日常の児童生徒指導、早期発見、適切な対応を大切にしている。

村田　PTAや保護者らは含まれないのか？

教育長　ケースに応じて必要な場合には、加えることを想定している。

光吉　どの段階で調査会が作られるのか？日常のいじめ対策の指導はどのように行われているか？

教育長　年3回いじめ部会を開催している。調査会の設置に関して児童生徒の心身に重大な影響を及ぼす場合に設置する。日常の中で真鶴は生物多様性に恵まれた環境にあり、自分と異なる価値観、考え方を認められる教育を行っていく。

真鶴町立幼稚園保育料徴収条例の制定について

全員賛成

真鶴町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

真鶴産業活性化センター条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

光吉　里海BASE設立の目的の一つであった干物作り体験施設の稼働状況は？

産業観光課長　施設整備の不十分な点があって、一日体験での営業はこれまでない。

平成26年度真鶴町一般会計補正予算（第1号）について

全員賛成

村田　貴船祭りフォトコンテストに関して、写真家と神輿関係者間での祭当日の撮影位置などに関してトラブル対策は？

産業観光課長　実行委員会と協議相談していく。

村田　海抜表示が20mに設置するのは津波の基準が変わったのを反映してか？

総務課長　指摘どおり津波の予想波高が16・5mに引き上げられたことによる。現在の海抜10m表示18カ所のものに20mの12カ所を加える。公共施設の海抜表示も合わせて行う。広報等で設置個所とすぐに非難することを知らせていく。

村田　国庫支出金231万円分が減ったのは？

総務課長　防災アナログ式無線のデジタル化整備の事業費交付金の申請額と内示額との差額を減額した。

村田　中学生海外派遣交流事業が中止された理由は？

教育長　募集の結果応募がゼロだった。結果について教育委員会、実行委員会で原因を検討して次年度に備えていく。

村田　海と自然の魅力発信事業の内容は？

教育課長　海を中心とした自然に関する情報の収

質疑応答

集と博物館での展示として自然の魅力を町内外に発信する事業。半島の海岸線に生息する生物、漂流物、お林の植物、ジオサイトのトピックスなどの展示、マップの作成を行う。

二見　移住定住推進に関する委託事業の詳細は？

企画調整課長　助成を受けての三本立ての事業。①アクションプランの策定②受け入れ体制のネットワーク整備③移住推進のためのコンシェルジュ事業、移住した働き手の支援構築。一定の期間、真鶴に住んで暮らしを体験し、地域と交流しながら物件を探していく。業務委託に関してはアクションプランの策定、人財育成、全国的なプロモーション作成業務、移住者たちの交流体験事業の企画運営を予定している。

光吉　委託事業は公募公示どのような形で募集？

企画調整課長　アクションプランは随意契約、人財育成支援は100万円の積算なので入札になる。プロモーション事業分30万円は随意契約。

教育課長　海と自然の魅力発信事業は、随意契約で特定非営利活動法人ディスカバーブルーに委託していきたい。

黒岩　移住定住推進事業の修繕費の内容は？

企画調整課長　町の所有する試住用物件の修繕で、助成金申請で必要経費として認められたもの。

黒岩　不登校訪問事業に関し不登校児の実態は？

教育長　不登校の数は、児童生徒に影響を考えて公表していない。数の多少ではなく、常に一人一人の子どもと向き合って進めていきたい。

岩本　自治会助成事業の計画は？

総務課長　防災倉庫1基、避難ルーム（プライバシー保護用テント）150個、災害時の諸用紙印刷用に大型プリンタ1基を導入する。

平成27年　4月臨時会　審議結果

会期（4月24日）

議案番号	議　　案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木繁	村田知章	青木嚴	二見和幸
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	10	10	0	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第34号	真鶴魚座の指定管理者の指定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

平成27年　6月定例会　審議結果

会期（6月11日～12日）

議案番号	議　　案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	田中俊一	黒岩範子	高橋敦	光吉孝浩	岩本克美	海野弘幸	青木繁	村田知章	青木嚴	二見和幸
諮問第4号	人権擁護委員の推薦について	9	9	0	同	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議長は裁決に加わりません	○
議案第35号	真鶴町附属機関の設置に関する条例及び真鶴町特別職の職員中非常勤の職員及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	9	9	0	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第36号	真鶴町立幼稚園保育料徴収条例の制定について	9	9	0	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第37号	岩ふれあい館条例の一部を改正する条例の制定について	9	9	0	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第38号	真鶴産業活性化センター条例の一部を改正する条例の制定について	9	9	0	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○
議案第39号	平成27年度真鶴町一般会計補正予算（第1号）	9	9	0	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○		○

採択結果　○＝賛成　×＝反対　退＝退席　欠＝欠席（遅刻・早退を含む）　除＝除斥　　※議長（青木　嚴）は裁決に加わりません

議決結果　可＝可決　否＝否決　承＝承認　認＝認定　同＝同意　報＝報告　採＝採択　趣＝趣旨採択　不＝不採択

議会の紹介

本会議

本会議とは、議員全員が議場に集まって、町の最終的な意思を決定・決議する会議です。町の予算や決算、条例などの議案が議決されます。議員は町長等に一般質問を行い、町政全般について所信を問うことができます。
一年に４回、定期的に開かれる定例会と、臨時で開かれる臨時会があります。

委員会

本会議のみでは、多様化し専門化した多数の議案を能率的に処理するのは困難なことから、それを補完するために委員会を設置して、それぞれの専門部門別に審査を分担するものです。
真鶴町議会では、議会運営委員会の他に、二つの常任委員会と三つの特別委員会があります。

議会運営委員会

議会の運営を円滑、効率的に進めるための常設の委員会です。
議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項等について担当します。委員数は6名です。

〈常任委員会〉

常任委員会とは、議会に常に置かれている委員会です。議会の調査機関としての役割等があります。二つの常任委員会があり、議員はどちらかの常任委員会に所属します。定員は６名ですが、現在の委員数はそれぞれ５名です。

総務民政常任委員会

議会事務局、企画調整課、総務課、税務収納課、町民生活課、健康福祉課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管に関する事項と、他の委員会の所管に属さない事項についての調査や審査を行います。

経済文教常任委員会

まちづくり課、産業観光課、農業委員会、教育委員会の所管に関する事項についての調査や審査を行います。

〈特別委員会〉

特別委員会とは、特定の事件に限って設置される臨時的な機関です。

広域行政特別委員会

隣接市町との広域行政に関する諸問題について担当します。
委員数は９名です。

議会広報特別委員会

議会だよりの編集、発行など、議会の広報について担当する委員会です。
委員数は６名です。

地方創生等検討特別委員会

今年新しく設立した委員会で、地方創生の諸施策について担当する委員会です。委員数は８名以内です。

議会事務局

議会の仕事をサポートする事務局です。
現在2名の体制です。

議会図書室

議会図書室とは、議員の調査研究を助けるために設置されます。

本会議場
6月議会はチャレンジデーのＴシャツで本会議を行いました。

光吉 孝浩 議員

レンタサイクル事業を始めるにあたって歩行者の安全確保について

A レンタサイクル貸し出しに際して「自転車安全利用五則」といった法令順守の徹底ほか、県を事務局として「県西地域サイクリングエリア等推進委員会」が立ちあげられたので、安全性の確保について審議するよう提案し、その審議の中で警察等の関係機関の意見を聞きながら、県西地域全体の問題として検討する。

真鶴町を周回する基幹道路である県道739号線、740号線について狭小区間の拡幅・歩道の設置等、県への施策に関する要望を続けていく。町道に関しても、難しい現状であるが、歩行者の安全確保のためにも実現可能性を見極めながら検討していく。

地方創生先行型水産加工物販売事業での保存用冷凍庫の改修等について

A 里海BASEは「公設民営施設」として施設は町で整備し、運営は民間、町は使用者から使用料を徴収する。

改修される冷凍庫を利用する事業主体は、施設Bの借り受け者。募集の際に冷凍庫があることを告知している。事業展開を大きくしていくために、もともと施設にあった大型冷凍庫の改修が必要と判断した。

また、冷塩水機は食品加工・体験施設」に設置し、借り受け者が使用する。

Q 加工体験施設は里海BASEの設立理由であるが、利用がないのは冷塩水機の設備が無かったからか?

A 里海BASEオープン前は加工体験を町が実施したことがある。干物の加工体験に冷塩水機の設備が必要なわけではないが干物の事業者に委託していこうという計画があった。ランニングコストがかかるので加工体験実施の際には減免措置も考えていく。

空き施設Aに関してはホームページ等で募集を続けている。

ふるさと納税について

A ふるさと応援寄付金については、まず、ふるさと応援基金に積み立てている。27年度当初予算では333万5千円を繰り入れ、貴船まつり保存管理奨励交付金や半島駅伝大会実行委員会補助金などに充てている。町ホームページで前年度の寄付金の総額、件数、希望により、氏名・寄付額をお礼ともに公表。

Q 使途が選べる画期的な税制である。申し込み書等で納税者が使途を選べるようにできないか?

A 真鶴町としては、特定の目的に使ってほしいという希望があれば、指定寄付として取り扱う。

一般質問

村田 知章 議員

学校図書室にも専属の司書を!

「学校図書室の司書教諭の設置ついて」

Q 学校図書館法も平成27年4月1日より、改正法が施行された。真鶴町の小中学校に、専属の司書教諭を置く考えはあるか?

A 学校図書館の活用・向上を図る上では、司書教諭は必要であると考える。

今後の司書教諭の配置については、国や県の教職員の配置の全体的な計画や今後の動向、町の介助員や学習支援員等の他の分野の職員も含めた教職員の配置全体の中で、優先順位などを考えて判断していく。

はしご車!

「お林展望公園の消防自動車ついて」

Q 平成21年にテレビ朝日系列の番組の企画で譲り受けたお林展望公園に展示してある高所放水車の消防自動車は、初年度登録より今年で18年目であり耐用年数も過ぎている。今後の取り扱いは?

A 7年に一回のオーバーホールが必要で、その費用が約2000万円かかることから、平成25年度に車両の登録の一時抹消手続きをした。現在ナンバープレートはついていない。

今後の車両の取り扱いについては、寄贈者の石原プロモーションと協議していきたい。

Q これまでの活用状況は?

A 消防活動としての実績は無し。出初式での放水のみ。

Q 累計の経費は?

A 車庫建設、車検など合わせて約707万円。

ノラ猫の対策を!

「地域猫ついて」

Q 町内にも多くのノラ猫が生息し、住民同士のトラブルの原因ともなっている。解決方法として地域猫の取り組みを行う考えはあるか?

ほっておくと、ノラ猫はあっという間に増えてしまう。町としてもTNR運動（ノラ猫を捕獲し、不妊手術をした後に元の場所に戻す取り組み）などできるのではないか?

A 地域猫活動を成功させるためには、それを行うボランティアの協力、活動の前にはまず地域住民の十分な理解を得られなければ、とても実現が難しいものであると認識をしている。

きちんと管理し、周りの理解を得る努力が必要で、広報や町ホームページなどで幅広く呼びかけていきたい。

Q この問題に取り組む団体や個人への支援は?

A 猫不妊・去勢手術費助成制度を通じて図っていきたい。

高橋 敦 議員

雇用機会の創出と人口流入の仕組み作りについて

Q 雇用機会の創出とそれに伴う人口流入を生み出すことを目的として、「人口ビジョン・総合戦略」の策定が求められており、議会においても、地方創生等検討特別委員会等で議論を行っている。

また、移住定住推進事業「クラシカル真鶴」では、「働き手移住」をコンセプトに、助成金交付が決定した。

両事業は、雇用創出・人口流入の観点からして非常に関連性の強いもので、人口変動（人口推移・転入転出推移等）の傾向とその要因、地域特性や移住理由等の分析と共に、就業・通勤・雇用状況等の「働き方」状況の分析も重視し、徹底的な課題・特性の抽出、解決への方向性を確定する必要があることから、両事業の計画策定作業を同期をとりながら行うのが効果的では？

A 「人口ビジョン・総合戦略」については、すでに人口等のデータ分析を進めており、住民と産官学金労言で構成する総合戦略推進会議を設置・検討していく。

「クラシカル真鶴」についても組織を立ち上げ、計画の策定を進める予定で、先行する総合戦略におけるデータ、アンケート調査の分析結果を双方で活用し、同期をとりながら進めていく。

Q 人口問題の大きなテーマに、都市部への一極集中から地方への移動の促進がある。

移住者を増やし、かつ、転出者を減らすためには、仕事の提供、住まいの提供、環境の提供が重要だ。

真鶴町の人口統計データからは、20歳から39歳の減少が見て取れ、「結婚・出産・子育て」層にいかに移住していただくか、住み続けていただくかが重要であり、そのターゲットに合わせたプラン作りのため、計画策定にターゲット層を取り込む必要性、ターゲットにどのようにアプローチするかの重要性を十分に認識することが、総合戦略の成否にかかってくると言っても過言ではない。

移住促進にあたり、真鶴を知ってもらい、真鶴に興味を持ってもらい、真鶴に移住してもらうため、どのようにアピールしていくか？

A 総合戦略は、住民や関係機関等の意見を聞き策定を進めるもので、計画策定へのターゲット層の取り込み、アプローチや移住のアピールについて、課題として総合戦略推進会議に投げかけ、意見を求めていく。

総合戦略推進会議構成員の住民からの公募にあたっては、選考段階において幅広い年齢階層から選考していく。

一般質問

黒岩 範子 議員

移住・定住促進のための空き家の有効活用を

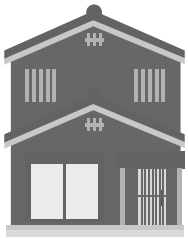
Q 27年度「未来を築くビジョン実施計画」にもり込まれている空地空家再生事業の中にある「ショートスティ物件の構築や移住コンシェルジュ等」とは具体的にどのようなものでどのように取り組むのか？

A 本年度、地域活性化センター助成事業として「クラシカル真鶴」（クラシカルとは暮らすと借りるを掛け合わせた言葉）が採択されたので、試住体験（おためし）施設の整備と移住コンシェルジュ事業の試行を行う。

試住体験とは真鶴への移住を考えている方々を対象に短期間、真鶴に滞在し、町外勤務先に通勤しながら商店街の活用、町民とのふれあいを通じ生活体験、移住物件の選定等の機会を提供する。先行的に3月、町所有の住居で実施した試住体験で2名の方が移住した。移住コンシェルジュとは移住に関する「相談窓口」として、住居や仕事に対する情報提供や、先輩移住者を含めた地元町民とのふれあいなどの側面支援を想定し、行政だけでなく地元町民が相談員として活躍できる仕組みを構築していきたい。本年度450万円、二年目、三年目は各200万円を限度額とする助成金で、本年度はアクションプランを策定し、それに基づき平行して試住体験等の事業を実施していきたい。

Q 町外から町内の空き家に定住する方がたの住環境整備事業「空き家リフォーム」に対する助成をはかり定住促進を進めることが出来ないか？山北町や二宮町で実施している。工事業者は町内在住者なので町内の経済循環、ひいては若者の雇用につながっていく。一般の住宅リフォームと較べ規模も小さく予算化も可能ではないか？ 当町では空き家情報を町のホームページにのせているが空き家バンク制度を作り、行政が入って家主、宅建業者と現地を確認し登録する。そうすれば、現在より空き家を探す側の信頼度が増すのではないか？

A 現在、空家リフォームの助成制度はないが、町の活性化、定住促進の取り組みの一つとして重要と認識している。近隣市町村の動向を見極めながら、町財政の実情を勘案し検討する。空き家バンクについては考えていないが空き家のホームページ登録は探しやすい形ですすめる。



二見 和幸 議員

旧水族館、釣り堀、亀ヶ崎工作物について

Q 昨年の第2回定例会での一般質問に対し、「展望台下の水族館跡地や内袋観音の活用について、神奈川県と協議しており、今後、水族館、いけすの跡地利用、内袋観音参道の改修、また、内袋観音の上ののりどめ工事を含め、内袋観音の観光化を県に強く要望していく」との町長答弁であったが、一向に進展していない。

先日の地域新聞においても町民の方の内袋観音の復活を願う記事が掲載されていた。

進捗状況は？

A 内袋海岸は真鶴半島の魅力をより一層引き出す観光スポットであると認識しており、方針は変わっていない。

県に対しては、内袋海岸周辺を観光スポットにしたい旨を伝え、県のアドバイスを受けながら、観光振興に資するための、水族館跡地や内袋観音、いけす跡地などの利用計画を検討している。

県は、計画が具現化すれば、各種許認可等について協力・調整していくとのことなので、今後、できるだけ早く利用計画を固め、各種調整を進めていく。

Q 内袋観音を観光スポットとして復活させるには、歴史や由来がわかることが望ましい。

A 昭和27年の町勢要覧に「明治初年、切込み石工が採掘した後に、見事な観音坐像がある」と、内袋観音に関する記載があり、その後、建築家の八柳氏が昭和29年に未完成だった観音坐像を彫り上げた、との記録がある。

Q 近くにある亀ヶ崎の工作物は、ネット上で「廃墟」とされ、廃虚マニアなどが探索したり、工作物のブロックにスプレーで絵を書く「ブロックアート」などで有名とされている。

A 平成14年2月12日に建物所有者と町との和解がなされ、当該建物については、相手方に何ら権利がないことを確認した。

そのため、その時点から町では、当該建物への不審者等の侵入を防止するため、入口を鉄格子状のもので塞いではいたが、廃墟としての探索やブロックアートに使われているなど、侵入者があるとの指摘であるので、防止策をさらに強化していくとともに、小田原警察に巡回の強化を依頼している。

Q 廃墟建物への入口に、「立入禁止」の看板がなくなっており、入口付近の電柱にはステッカーが貼られ、この先に何かがあるとわかるように感じられる。

3カ所ほどある入口全てに立入禁止の看板を設置してはどうか？

A 直ちに設置する。

一般質問

板垣由美子 議員

いつまでもアクティブに「健康寿命の延伸について」

Q 健康寿命とは日常的に介護を受ける事もなく、また寝たきりにもなったりせずに自立した健康な生活をおくれる期間のことだ。

一般的にあと何年生きられるかを示す平均寿命との差が広がると、介護や医療費が増加し高齢者の生活の質の低下にもつながると言われている。

健康日本21（第二次）では健康寿命の延伸が中心課題となっている。

当町の健康寿命の延伸に対する考えは？

A 健康づくり計画・食育推進計画を策定し町民が健康に過ごせるよう「健康づくり6か条」を柱としてそれぞれ目標を設定、実現するため生活を少し変えるスモールチェンジを提案し、町民一人一人が自分にとって必要な生活改善策を見つけて生活を変える事を促す取り組みを進める。

Q 当町は階段や坂道が多く歩くと適度な負荷がかかり、ウォーキングに最適な環境だ。

歩きやすい環境づくりは？

A 町道の整備にあたっては手すりの設置をするなど安全対策を施行している。

今後も安全確保を配慮し歩きやすい環境づくりを推進していく。

Q スマート・ライフ・プロジェクトへ参画し、愛煙家へ本数を減らすスモールチェンジを提案していったらどうか？

A スモール・ライフ・プロジェクトとは、適度な運動・適切な食生活・禁煙の3つのアクションに健康健診の受診が加わり自分を知って3つのアクションに取組んでいくが、当町はどのアクションにも取組んでいる。

地域ぐるみで課題解決！「コミュニティスクールの導入について」

Q コミュニティスクールは、公立の学校において、保護者や地域住民らで構成する「学校運営協議会」のことだ。

子どもの勉強をサポートする教育ボランティアや地域と連携した土曜授業を行っているところなど、学校をめぐる課題解決に成果を上げている。

導入は？

A 地域の方々が一体となり、教育活動を推進していくこと、コミュニティスクールの趣旨である、地域とともにある学校づくりの重要性は認識している。

真鶴版のコミュニティスクールを考えていく。

議長の部屋

青木　嚴

予算繰越明許について

昨年度に予算計上した旧真鶴グランドホテル横にある老朽化した第3配水池の改築事業が終了しました。予算繰越明許理由は、設計変更により事業を完了できず、地方公営企業法により年度内に支払義務が生じなかった工事経費を27年度に繰り越して支払うことの報告でした。事業費は、1億8千6百万円で企業債が1億2千8百万円で国庫補助が8百万円です。

わが町の水道事業は、

昭和4年に水道通水が始まりましたが、しかし塩分濃度が比較的高い飲料水には適さない水道水でした。（岩地区は、大正13年から簡易水道があり水道水に余裕がありました）昭和26年から湯河原吉浜町の新崎川に水源を確保し吉浜、福浦、真鶴、岩地区に水道管を埋設する計画を立てましたが話が進みませんでした。

昭和33年に小田原市江之浦字赤沢の土地に湧水を確保して、昭和36年に落成通水式を行いました。しかし東海道新幹線トンネル工事の影響で1週間後には湧水が止まりました。（当時3千万円の事業費を費やしました）

わが町は、水道水確保のため新幹線小田原工区長からトンネル内導水施設から日量3千トン給水施設を国鉄が全額保証する導水、送水ポンプ施設・送水管埋設は町が負担する。用地（小田原市内の土地）については、国鉄と町が処置することになり、用地買収は難航しましたが、昭和39年10月に通水式をとり行いました。（当時の工事費総額は、6千5百万円）

わが町の水道事業は、岩地区の地下水源と江之浦地下水源により町の水道事業を進めました。

町人口の増加に伴い昭和43年から飲料水の供給不足が生じ、節水、断水が始まり翌年4月から湯河原町から「臨時応急処置」として日量1000トンの友情給水をお願いし供給不足水量が2500トンまで増水してきました。

その間、町では施設整備を行い、配水池の耐震化や増設工事を実施しました。平成13年には責任水量を2200トンから1900トンに改定し現在に至っています。

わが町の水道事業は、供給不足を何度も経験し、町は、水道事業に多額の投資をしてきました。町の努力と湯河原町の協力を得て現在に至っています。

町民の皆様に完成した第3配水池見学会が開催されるよう町に働きかけていきます。

議会運営委員会

議会運営委員会では、真鶴町議会と町民との意見交換会・真鶴町議会報告会の実施要綱、真鶴町議会防災危機管理要綱、真鶴町議会議員研修実施要綱の見直し及び策定を完了し、現在は真鶴町議会運営基準の見直しを行っています。

進捗状況は月に2回の委員会開催により、第1章総則より第9章請願・陳情まで終了しました。

見直しについては、文言の整合性や新たな条文の追加、検討した中で不要となった条文の削除など、他町村の状況なども調査しながら丁寧に作業を進めています。

最終章の、その他の事項まで、これからも委員全員で取組んで参ります。

議会運営委員会
委員長　板垣由美子

委員長・副委員長研修会

神奈川県町村議会議長会主催の委員長・副委員長・事務局長研修会が5月22日(金)に開催されました。

この研修会は毎年開催されており、今回は「地方創生の展望と議会の役割」と題し、毎日新聞社論説委員の人羅格氏の講演が行われました。

昨年度からスタートした地方創生事業について、全体像に続き、

・人口減少問題と消滅可能自治体
・総合戦略策定に関し自治体に問われるもの
・これまでの政府の施策と今後の見通し
・これからの最大の課題である地方版総合戦略

等について話された後、求められる地方議会の奮起についても触れられました。

真鶴町議会でも、地方創生等検討特別委員会を中心に議論し、提案・提言を行っていきます。

地方創生等検討特別委員会
委員長　高橋　敦

編集後記

夏真っ盛り！いかがお過ごしでしょうか？

この間、アフリカはウガンダから知人が真鶴に訪ねて来てくれました。帰路、真鶴駅で同じく外国からの三人の旅行客と遭ったそうです。彼らは、真鶴を地図で知り、東京から近くて素晴らしい場所なのに外国人観光客が少なくて驚いたと言います。これからラグビーW杯、オリンピックと日本で開催されるイベントが目白押し。多くの方が訪ねていただけるよう、情報発信を続けてまいります。

議会広報特別委員会
副委員長　光吉　孝浩

議会広報特別委員会
委員長　村田知章
副委員長　光吉孝浩
委員　黒田俊一
高橋範子
岩本克敦
美